

一西だより



豊川市立一宮西部小学校通信
令和7年10月16日 第18号
発行;校長 村上謙一

【3年自転車教室】

10/6(火)交通指導隊のご協力を得て、3年生が自転車の安全な運転について学びました。子どもたちのヘルメットを見てびっくりしました。市から支給される黄色いヘルメットは全体の2/3です。1/3は色とりどりの各ご家庭がご用意されたものでした。ご家庭の意識の変化が如実に表れています。

この際ですが、お子様の自転車傷害保険のご加入はお済みでしょうか。現在、市では加入が義務化されており、事故発生時の賠償金額は1億円を超える事例が多数報告されています。まだの方がみえましたら、是非ご加入をお願いします。分からないことがありましたら担任・担当までご相談ください。

【教育実習生ががんばっています】



6年生と2年生に愛知教育大から教育実習生をお迎えしています。また、体験活動として愛知教育大学の学生が授業の補助に参加しています。教師の卵である若者が懸命に努力する姿は、いつかの私たち自身の姿と同じです。確かな指導も必要ですが、「ありがとう」も伝えたいと思います。

【人権集会】

10/14(火)西郷元校長先生にお越しいたき、人権集会を開きました。今年で5年目の取組です。

「なんで私が・・・」ではなく、「よかったね」と言える心が人権意識の始まりです。「なんで私が・・・」は自分の心がスタート。「よかったね」は相手の心がスタートだからです。そんなお話を分かりやすく行っていただきました。



【日本の小中学校教員 仕事時間が最長 OECD 調査】

10/8 中日新聞の記事によると2024年OECDによる国際教員指導環境調査の結果によると、日本の小学校教員の1週当たりの仕事時間は52.1時間で加盟国中最長時間であったとのことです。

本校の9月の時間外在校時間の平均は24.2時間。1日当たりの時間外在校時間は約1.4時間になりますから、1日の仕事時間は9.2時間。1週間では46時間となります。国との差は約6時間です。まだまだ業務改善が必要です。

【豊川市小中学校作品展】

10/18(土)～19(日)9:00～17:00 赤塚山公園で豊川市小中学校作品展が開催されます。本校は2・4・6年生の作品を展示します。当日は駐車場の混雑が予想されますので、ご近所でお乗り合わせいただくか、コミュニティバスを利用するなど、来場方法にご配慮ください。

豊川市小中学校作品展は本年の開催が最後になります。来年以降の開催はありませんので、ぜひこの機会に会場にお越しください。

【当事者意識を育んでいます】

学校にはいろんな子どもがいます。家庭環境や成育歴も様々です。子どもが育ってきた環境により、考え方や価値観も多様です。それゆえに、学校ではトラブルが絶えません。子どもはトラブルの解決過程を通して、互いの「ちがい」や、相手との適当な距離の取り方を学んでいきます。

しかし、親も先生も、子どもが傷ついて平気ではいられないので、トラブルの発生を未然に防ごうとします。また、防げなくても早く楽にしてあげようとして、大人が解決の道筋を立てて「ごめんなさい」「いいよ」をさせてしまうものです。この親切心によって、子どもは互いの「ちがい」や「距離の取り方」ではなく、「大人が解決してくれる」という誤学習をしてしまいます。そしてトラブルの当事者意識を失い、依存性を高めてしまいます。

そこで、トラブルの解決に向けては「何に困っている?」「先生が力になれることはある?」「どうしたい?」の問いかけで、子どもたちに自己決定をさせて進めたいと私は考えます。そうすると、解決までに若干の時間がかかることもあると思います。今だけを考えると解決は早い方がいいのですが、子どもの未来に目を向けると、トラブルを成長のチャンスのする方がいいのは明らかです。次期学習指導要領の内容を検討する中教審の審議でも、「当事者意識を育むこと」は大切にすることの一つとして取り上げられています。

本校が取り組むチーム担任制も、学級運営の主体を子どもに返して、子どもを学級づくりの当事者にするものです。社会では手段が目的化していないかの問い直しが常に行われていると聞きます。学校もまた、そうありたいと考えています。